

## 高蔵寺駅周辺の古墳

標高約50m前後の庄内川の河岸段丘に古墳が分布しています。



※高蔵寺第1・2・4・6・7号墳は滅失

### 1 高蔵寺第3号墳 (高蔵寺町6-2-6)



築造時期:7世紀初頭  
墳形:円墳  
直径:約15m  
出土遺物:須恵器

昭和47年に発掘調査を行い、南西に開口した横穴式石室が確認されました。石室内から須恵器が出土しており、7世紀初頭の築造と考えられます。

### 2 高蔵寺第5号墳 (玉野町字塚本448)



築造時期:7世紀初頭  
墳形:円墳  
直径:不明  
出土遺物:須恵器・鉄製品  
(直刀・刀子・馬具・鉄鏃)・金環

昭和47年に発掘調査を行い、南西に開口した横穴式石室が確認されました。遺物の出土状況から複数回の追葬が行われたと考えられます。

## 廻間町の古墳

標高約100~117mの丘陵の斜面や谷地形部分に古墳が分布しています。



※廻間第2~6号墳は滅失  
※廻間第8・9号墳は現存していますが見学できません

### 1 廻間第1号墳 (廻間町字高森1090)



築造時期:7世紀前葉  
墳形:円墳  
直径:約15m  
出土遺物:須恵器

昭和44年に発掘調査を行い、横穴式石室が確認されました。石室内から須恵器が出土しており、7世紀前葉の築造と考えられます。

### 2 廻間第7号墳 (廻間町字高森1106-16)



築造時期:7世紀初頭  
墳形:円墳  
直径:約10~15m  
出土遺物:須恵器・鉄製品(刀子)・金環・韃の羽口

昭和52年に発掘調査を行い、横穴式石室が確認され、石室内から須恵器・鉄製品・金環・韃(フイゴ)が出土しました。横穴式石室の型式から廻間第7号墳→廻間第1号墳の順に築造されたと考えられます。